

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

この演習は、「お金」とは何か、「電子マネー」とは何かを学びます。

2. 授業の到達目標

- (1) グループでの研究発表能力を修得する。
- (2) グループでディベート(討論)を行う能力を修得する。
- (3) 個人の研究発表能力を修得する。
- (4) レポートの作成の仕方を修得する。
- (5) 輪読による「電子マネー」の仕組みを修得する。

3. 成績評価の方法および基準

①出席、②グループでの研究発表、③ディベート(討論)への参加、④個人の研究発表、⑤レポートの作成、⑥輪読の際のレジュメ、コメントの作成、を総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

岡田仁志著 『リブラ 可能性、脅威、信認』 日本経済新聞社

5. 準備学修の内容

参加者は、グループで相談して研究発表、ディベートの準備を行い、研究発表の際にはスライドを準備し、レポート作成の準備を行ってください。

6. その他履修上の注意事項

参加者は、しっかり準備し、出席し、積極的に発言するように心がけてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 テキストの輪読Ⅰ
- 【第2回】 テキストの輪読Ⅱ
- 【第3回】 テキストの輪読Ⅲ
- 【第4回】 テキストの輪読Ⅳ
- 【第5回】 テキストの輪読Ⅴ
- 【第6回】 グループの研究発表を行う(第1回)
- 【第7回】 グループの研究発表を行う(第2回)
- 【第8回】 グループの研究発表を行う(第3回)
- 【第9回】 他のゼミとのディベート準備を行う(第1回)
- 【第10回】 他のゼミとのディベート準備を行う(第2回)
- 【第11回】 他のゼミとのディベートを実施する
- 【第12回】 他のゼミとのディベートの反省会を行う
- 【第13回】 レポートの作成準備を行う
- 【第14回】 レポートの作成を行う
- 【第15回】 レポートの提出と1年間の総括を行う